

京都嵯峨

KYOTO SAGA

芸術大学

UNIVERSITY OF ARTS

広報

PUBLIC RELATIONS

VOL.11

Special Feature

第33回制作展 開催

JANUARY 2005



News

平成17年度予算編成基本方針
京都嵯峨芸術大学大学院設置認可
学長選挙
学部長選挙
教育研究への特別補助
受験資格の認定
森原キャンパス「有響館」開設記念事業の実施
短期大学の改革へ向けて

Topics

附属図書館

オープニングイベントを開催

行事

“ KYO ”をテーマに嵐芸祭開催

在学生の活躍(受賞)

国際デザインコンペに入選 / ふろしきデザインコンペに入選 / クラフトコンペに多数の受賞・入選者 / 京都広告賞にポスター作品が入選

在学生の活躍

古川町商店街に店舗を出店 / 吸盤によるインスタレーション / 京都府の「人権ぬりえ」に協力

国際交流

交換留学生の受け入れ

附属博物館

第7回企画展「嵯峨からの発信」

教員の活躍

第36回日展で受賞者 / 音楽家への医学博士号授与

公募展

YOUバックアートコンペ2004

アートスペース嵯峨

日本画3回生作品展 / 日本画専攻科展 / JAGDA新人賞2004展 / 伊勢信子退職記念展 / 第3回マイカメラ・マイスタイル・マイフォト展



[LOOK UP KYOTO 2004] by Jeffrey Shaw and Bernd Lintermann

Information

森原キャンパス「有響館」開設記念事業
連続講座「京の美意識」
入試関連情報
大学行事
卒業・修了式、制作展授賞式
教育後援会
アートスペース嵯峨スケジュール
専任教員展覧会情報



KYOTO SAGA
UNIVERSITY OF ARTS

第33回制作展 開催

今年度は、いよいよ芸術学部として初めて、造形学科と観光デザイン学科から卒業生を送り出すこととなります。この記念すべき年の卒業・進級制作展は、芸術学部、短期大学部、同専攻科それぞれの進級・卒業・修了制作展を総合し、「第33回制作展」として2005年2月9日（水）から13日（日）まで開催します。

制作展は、学生たちにとって学生生活で最も重要な檜舞台といえるでしょう。作家活動の第一歩になる人もいますし、人によっては最初で最後の作品発表の場になるかもしれません。それだけに、学生一人ひとりは、展示会場に並べられた作品を前にしてさまざまな感慨を持つことでしょう。制作の過程では、自分の技術の未熟さを思い知って、悔し涙を流すこともあったに違いありません。考えぬいたつもりでも次の日になると、自分で自分の甘さに気付いて絶望的になったり、友人たちが順調に進んでいるのに比べて、なかなか作品の見通しがつかず、焦りと不安で眠れないまま朝を迎えたこともあったのではないのでしょうか。そして、完成した作品を学生生活の集大成として世に問う時、不安と畏れを感じながらも、同時に、やり遂げた満足感と自負心が胸にわき上がってくることでしょう。

結果としての作品に、必ずしも努力のすべてが明確には現れていないかもしれません。しかし、作品の背後にある、挑戦の意志とこの時期でなければ見ることができない瑞々しい感性や活力を感じとることができるはずです。芸術学部、短期大学部ともに充実した若々しい作品群は、必ず、私たちに感動を与えてくれるに違いありません。

京都市美術館での卒業・修了作品展示と同時に、大学では芸術学部2・3回生、短期大学部1回生の進級制作展を開催します。キャンパス全体を芸術の展示会場と解釈し、学生が自主的な実行委員会を組織してさまざまな企画を展開します。

学生には、「自分たちの制作展を自主的に運営したい」という意欲が強くなってきています。昨年度から、ポスターや案内はかきを学内コンクールによる原画をもとに制作するようになり、従来とはひと味違う、ユニークで新鮮な発想が話題になっています。

作品に対する自負と同時に、制作展全体についても積極的に取り組む姿勢は、自主性の高まりとして京都嵯峨芸大生の優れた特色のひとつになってきました。これは、芸術を志す者にとって大切な、既成の価値や与えられる枠組みに囚われず、なにものからも自由で自立した生き方を志向する表れでもあり、京都嵯峨芸大生のよき伝統として受け継がれていくことが期待できます。

会場へ作品を観に来ていただいたことが、なにより先制作者には励みとなります。また、本学園からの賞の授与に加え、近年は、同窓生の皆さんから、投票による同窓会特別賞を選出いただいています。これもまた学生にとって大きな励みであり、「嵯峨美卒業生がつくり上げてきた伝統」と、「新生京都嵯峨芸術大学の創造」の懸け橋になっていると思います。

どうぞ、各展示会場にお越しいただいて、学生や教職員にご感想や忌憚のないご意見をお聞かせくださるようお願いいたします。

●2004年度制作展委員長／芸術学部観光デザイン学科 教授 金氏脩介

芸術学部4回生,短期大学部2回生,同学部専攻科2回生

卒業・修了制作展

会期／2005年2月9日(水)～2月13日(日)

時間／9:00～17:00 ※入館は16:30迄

会場／京都市美術館(京都市左京区岡崎公園)

4年間または2年間の集大成として、造形作品や研究論文等の学修成果を発表する、1年に1度の学校を挙げて行う展覧会です。

今年度は、前身の嵯峨美術短期大学時代から数えて33回目の京都嵯峨芸術大学短期大学部卒業・修了制作展のほか、京都嵯峨芸術大学(四年制大学)が誕生してから4年目の年を迎えたことにより、芸術学部第1期生の卒業制作展を行うことになりました。日本初の「観光デザイン学科」や、「造形学科メディアアート分野」の作品など、今までの“嵯峨芸”にはなかった新しい領域の作品が京都市美術館を舞台に展開します。

芸術学部2・3回生,短期大学部1回生,同学部専攻科1回生

進級制作展

university museum ～アート化学～

会期／2005年2月9日(水)～2月13日(日)

時間／9:00～17:00

会場／京都嵯峨芸術大学

“普段、制作活動を行っている大学全体を美術館にしてみよう”という試みのもと、学生による実行委員会が中心となって企画・運営する展覧会です。

今年度は、「アート化学」というサブテーマを設定して、正課の進級制作以外に自主制作の作品を展示するほか、カフェの開設や、アーティストによる講演会を行います。また、新たな試みとしてミュージアムショップを予定しています。

進級制作展特別講演会

[第1回講演会]

紙コップを使った作品を国内外で精力的に発表している LOCOさんが登場し、現在までの活動紹介のほか、簡単なワークショップも行う予定。

日時 / 2005年2月9日(水) 14:00～

会場 / 第6演習室(ギャラリー棟3F)

講師 / LOCO氏(紙コップアーティスト)

[第2回講演会]

幅広い知識からデザインにアプローチしている本学の西村美香先生が登場し、「アート化学」を主題としてディスカッション等を行います。

日時 / 2005年2月13日(日) 14:00～

会場 / 第6演習室(ギャラリー棟3F)

講師 / 西村美香氏(短期大学部グラフィックデザイン標準コース専任講師)



制作展ポスター原画コンクール

“自分たちの制作展は自分たちでイメージづくりも行いたい”という学生からの要望を受けて、学生の意向を活かした広報展開を2003年度より試みています。

今年度を実施したポスター原画コンクールでは、寺川靖子さん(芸術学部油画分野4回生)の油絵が選ばれ、この絵をもとに制作展実行委員会の学生スタッフが中心となってポスター2種と案内ハガキ1種が完成しました。ポスターは1月下旬より各交通機関等で掲出する予定です。

理事会報告

予算編成基本方針

平成17年度予算編成

2004年11月30日(火)に開催した学校法人大覚寺学園の理事会ならびに評議員会で、来年度の予算編成基本方針が承認されました。要旨は次のとおりです。

大学全入時代が近づき、定員割れをおこしている大学が3割となるなど、私学を取り巻く環境は年々厳しくなっている。また、すべての大学・短期大学が認証評価機関による「第三者評価」を義務付けられることとなり、大学の質の向上が強く求められている。

こういった状況に対応するため、平成17年度は、学生募集の強化、学費等の増収のほか、不急の支出の抑制、とりわけ増大する人件費の抑制、安定化を目指している。また、予算請求にあたって、各課、各研究室が提出する事業計画書の入念かつ慎重な作成を求め、「予算主義の徹底」を図ってきたい。

1. 建学の理念の徹底と具体化
2. 教育環境の整備と具体化
(図書館等の移転に伴う跡スペースの活用 大学院開設準備 旧校舎の改修計画と財政措置)
3. 教育・研究支援活動の活性化(教員の研究活動支援職員の資質向上)
4. 地域への文化発信プロジェクトの推進(京都嵯峨野文化サロン、生涯学習講座 地域連携事業等)
5. 教職員の能力・意欲を重視した給与体系の検討 効率的な人事配置
6. 学生募集 広報活動の積極的展開

大学報告

大学院設置認可

かねてより2005年4月に開設予定で設置認可申請をしておりました念願の「京都嵯峨芸術大学大学院」が文部科学省大学設置・学校法人審議会の審議を経て、2004年11月30日(火)付けにて認可されました。また、これに伴う学校法人寄附行為変更についても認可されました。

京都嵯峨芸術大学大学院	
学 長	三好郁朗
設置学科	芸術研究科 (芸術専攻 / 二年制、修士課程)
入学定員	8名

理事会報告

学長選挙

学校法人大覚寺学園では、京都嵯峨芸術大学ならびに京都嵯峨芸術大学短期大学の三好郁朗学長(65)の任期満了に伴い、2004年12月1日(水)に学長選挙を実施しました。

今回の選挙は、候補者が1名であったため、実質的な信任投票となりました。全専任教員と職制以上の専任職員による投票の結果、現職の三好郁朗氏が再選し、12月9日(木)に開催した理事会をもって承認されました。任期は2005年4月から2年間です。

大学報告

学部長選挙

芸術学部ならびに短期大学の各学部長の任期満了に伴う学部長選を実施した結果、現職の箱崎睦昌芸術学部長と黒川彰夫短期大学部長が再選し、2004年12月15日(水)の教授会をもって承認されました。任期は2005年4月から2年間です。

大学報告

教育研究への特別補助

文部科学省の平成16年度私立大学等経常費補助金「私立大学教育研究高度化推進特別補助」に申請していた以下の7件が、このたび、全件ともに採択されました。(11月19日付け通知)

この特別補助は、私立大学等の教育条件と研究条件の維持向上および在学生の修学上の経済的負担の軽減ならびに経営の健全化等に寄与するため、日本私立学校振興・共済事業団が国からの補助金の交付を受け、これを財源として大学等を設置している学校法人に対して交付するものです。

京都嵯峨芸術大学

1 高等教育研究改革推進経費
1 DATA GLASS PROJECT / デジタル技術と芸術表現を結び付ける教育的試み
2 UNIVERSITY MUSEUM / 学生自身による大学全体を美術館として使用する試み
2 情報通信設備(借入)
1 新棟(有響館)学内マルチメディアコンテンツ教育支援システム

1-1と2-1は新規採択、その他は継続採択

京都嵯峨芸術大学短期大学部

1 高等教育研究改革推進経費
1 実習カリキュラムのオープン化に向けた取り組み
2 情報通信設備(借入)
1 マルチメディアコンテンツ教育支援システム
3 教育研究用ソフトウェア
1 デザインアートコンテンツ作成ソフトウェア
2 webコンテンツ作成ソフトウェア

1-1は新規採択、その他は継続採択

大学報告

受験資格の認定

芸術学部観光デザイン学科と短期大学部美術学科インテリアデザイン標準コースの課程が、「商業施設士」資格試験の受験資格の認定を受けました(2004年12月7日付)。

適用は、観光デザイン学科2001年4月入学者からと、美術学科2002年4月入学者からとなります。

大学報告

森原キャンパス「有響館」開設記念事業の実施

森原キャンパス「有響館」の開設を記念し、“伝統と未来をつなぐ”をコンセプトとする大規模なイベントを開催しました。

ひとつは、世界的なメディアアーティストであるジェフリー・ショー氏を迎えて行った「FUTURE VISION」です。2004年11月27日(日)に開催した国際シンポジウム「インタラクティブシネマの可能性」では、ジェフリー氏と、共同制作者でもあるベルント・リンターマン氏、東京藝術大学教授



の伊藤俊治氏を迎え、それぞれのプレゼンテーションと、前述の3人に本学の松本泰章助教授を加えたメンバーによるディスカッションを行い、約170名の参加者が最先端芸術のあり方について聞き入っていました。

また、ジェフリー氏の最新作で、「LOOK UP KYOTO 2004」と題されたメディアアート・インスタレーションを、11月27日(土)～12月12日(日)の期間、講堂に展示しました。“かまくら”状のエアードーム内に寝そべって上を眺めると、京都市内にある建造物の天井がさまざまに映し出され、不思議な空間へ引き込まれる作品です。

11月28日(日)には、芸術学部造形学科日本画分野の古画研究工房が中心となって進めてきた、台湾の興彩宮・王家

宗祠の扉絵復原模写の完成に合わせた国際シンポジウム「東アジアにおける古建造物彩色・壁画の保存と修復」を開催。東アジア各国(中国・台湾・韓国・日本)における保存修復の事例発表・研究報告と、さまざまな立場のパネリスト7名によるディスカッションを行い、約160名の聴衆も交えて活発な討議を展開しました。

どちらのイベントにも、本学が培ってきた研究成果が凝縮され、社会へ向けた大学からの情報発信が実践された有意義な事業となりました。

なお、もう一つの主要企画である連続講座「京の美意識」は、京都の伝統文化を未来へつなぐべく、各方面の第一線で活躍される方を講師にお招きして毎月1回開講しており、現在2講座を終えました。

大学報告

短期大学の改革へ向けて

短期大学が2年間の高等教育機関として果たしてきた役割は多大なものと評価されますが、18歳人口の減少による志願者の減少や、短期大学に対する社会的ニーズの変化により、従来の四年制大学のミニチュア版教育でない、新しい形の教育へ変容が求められています。大学を含めた高等教育の現場が大きく変容するこの機に、短期大学としての生き残りをかけて現実的な経営の合理化と本質的な教育の中身の議論を進めて行かなくてはなりません。また、高等学校においては、従来の偏差値による大学選びの時代から、生徒が自らの視点に立って大学を見極め、大学が提供する教育の質と場を比較検討して、自分の目的にかなう大学を選択させる進路指導に変化してきました。理由は如何なるとも、今が教育の質について議論を交わす良い機会であると言えます。

本学が教育改革として取り組み、平成17年度入学生から実施する新しい教育制度では、受け入れた学生を社会へ、或いは四年制大学編入など他の教育機関に送り出すまでの教育課程として責任持って果たせる体制を整備してまいりました。嵯峨美術短期大学から30年以上にわたる芸術教育で培った教育の質を保持しながら、現代の学生の多様化したニーズに応えるフレキシブルな教育体制を融合させて、学生の個性や能力・志向に沿った個人指導を中心にした履修指導で、自らの目的へ向かって学習プログラムを組む、自由選択履修の教育制度を導入しました。

これは、短期大学部美術学科に美術とデザインの2分野を設けて、所属分野内の各領域から提供科目を自由に選択履修するシステムです。美術分野は日本画・洋画・ミクストメディアと、陶芸・染織の各領域で構成し、デザイン分野はグラフィ

ックデザイン・イラストレーション・インテリアデザイン・プロダクトデザインの各領域で構成します。各分野には、領域の特色を活かした科目を開設し、学生が表現する能力を身につけて徐々に表現媒体や素材を絞り込みながら自らの方向性を探って行きます。

芸術表現の媒体は、絵画等の視覚的表現や、文字・音による表現から、コンピュータを使用した人間の五感に訴える表現まで様々な可能性があります。本学における芸術教育から、学生が自らの感性を磨き、その感性を人に伝達するための技法を身につけながら、自らの表現の可能性を発見してほしいと願っています。

記:有岡保行

(短期大学部美術学科デザイン部門長/同学部教授)

平成16年度入学生に対しては、入学時の教育課程を保証し、その課程に沿って卒業していただきます。

附属図書館

オープニングイベントを開催

附属図書館が、本部キャンパスから森原キャンパス「有響館」へ移設し、2004年10月1日(金)に開館したことを記念して、11月13日(土)にオーストラリアの著名な児童文学作家エミリー・ロググ氏の講演会を行いました。また、講演会当日から11月19日(金)まで、有響館の学生情報フロアにおいて、オーストラリアの絵本展示を合わせて行いました。両イベントともに学内外から多くの方がご参加くださいました。



行事

“ KYO ”をテーマに嵐芸祭開催

2004年11月21日(日)・22日(月)の2日間にわたって、学園祭「嵐芸祭(らんげいさい)」を開催しました。

今年度は、4回生まで全学年が揃って迎えた初めての学園祭で、新しいキャンパスが誕生したこともあり、地域の方を交えて盛大に開催することができました。



在学生の活躍(受賞・入選)

国際デザインコンペに入選

「見えない気配」をテーマに、あらゆる分野のデザインを対象として開催された第4回国際コンペティション「名古屋デザインDO!2004」において、短期大学部生活デザイン標準コース2回生の西野知佐子さんと藤田晶子さんの共同制作「伝えたい想いがあります。I have a message for you」が入選されました。



ふるしきデザインコンペに入選

日本が世界に誇る布“ふるしき”の新しいかたちを提案する「第2回ふるしきデザインコンペ」(ふるしき友の会主催)において、芸術学部観光デザイン学科1回生の飯田菜美絵さん、川越春菜さん、坂本梓さん、高井春奈さん、細木智子さんの作品がそれぞれ佳作で入選されました。

クラフトコンペに多数の受賞・入選者

京都陶芸の新しい芽を育てていくことを目的として開催された、第3回「若きづくり手を育てるクラフトコンペ」(株式会社たち吉主催)において、短期大学部専攻科美術専攻2回生の井上倫子さん作「BOWL」が優秀賞に輝いたほか、同優秀賞とたち吉賞を卒業生の川野英樹さん作「オリベ手付」が同時受賞されました。

また、卒業生の桑田卓郎さん、専攻科美術専攻2回生の伊達早苗さん、美術学科陶芸標準コース2回生の中村朱里さんの作品がそれぞれ奨励賞を受賞しました。そのほか、卒業生6名と研究生1名が入選を果しています。

京都広告賞にポスター作品が入選

京都広告業協会主催「第15回京都広告賞」のポスター部門において、短期大学部専攻科デザイン専攻1回生小野智美さんの制作した漬物店の広告ポスター「京の伝統、漬かってます」が、佳作で入選されました。

在学生の活躍

古川町商店街に店舗を出店

2004年10月22日(金)~12月22日(水)の2ヶ月間限定で、芸術学部観光デザイン学科4回生の隅谷徹さんが、京都市東山区にある古川町商店街に雑貨店「サンセット・マーチ」を出店しました。

同商店街振興組合の空き店舗対策の一環として企画・実施されたこの店は、本学を中心とする芸術系大学の学生による作品を集めて販売するなど、学生が運営するユニークな店舗として京都新聞等のメディアで紹介されました。



吸盤によるインスタレーション

芸術学部造形学科油画分野4回生有志による吸盤を使用したインスタレーションプロジェクト「侵食」が、2004年11月1日(月)~13日(土)に有響館で開催されました。

錦に染まりゆく嵐山をイメージして、ひとつひとつ彩色を施した吸盤を桂川(森原堤)に臨むガラス壁面へ配置し、空間そのものを芸術作品として見せる試みです。行き交う多くの人が普段と違う「有響館」に魅了されました。

京都府の「人権ぬりえ」に協力

人権意識の向上をめざして京都府が作成する子ども向けの「人権ぬりえ」に、芸術学部観光デザイン学科の1回生らが協力し、12月に印刷物として完成、一万二千部がイベント等で配付されるそうです。

これは、府人権啓発推進室から同学科の森本武教授に依頼があったプロジェクトで、幼児や児童の情操を養うようなぬりえであるとともに、人権尊重の理念を自然に学び取れるように、構想からイラスト制作、府への提案までを参加学生は苦心しながら体験しました。

国際交流

交換留学生の受け入れ

2004年11月9日(火)より5週間、短期大学部と短期交換留学制度の協定を結んでいるスコットランドのエディンバラ美術大学から、短期大学部生活デザイン標準コースにアナベル・バトルさんを、同日本画標準コースにテッサ・リンチさんを受け入れました。両名とも、本学で受けた刺激をもとに制作した作品の展示会を学内で行うなど、期間中、精力的な活動をされました。

附属博物館

第7回企画展「嵯峨からの発信」

本学が位置する嵯峨の地の歴史と、そこから発信された文化をテーマとした企画展を、2004年10月16日(土)から2005年1月10日(月)まで開催しています。

11月29日(月)には、京都市立嵯峨小学校から地域学習の一環として児童約100名が来館し、「嵯峨面」や「嵯峨人形硯」、「嵯峨祭剣鉾」などを見学しました。一堂に会した郷土の文化に触れたことは貴重な体験になったことでしょう。

教員の活躍

第36回日展で受賞者

第36回日展において、吉水絹代教授(短期大学部染織標準コース)の作品「水の章Ⅴ」が特選を受賞されました。

また、北野治男非常勤講師(芸術学部造形学科日本画分野)の作品「道」が日展会員賞を受賞されました。

音楽家への医学博士号授与

芸術学部で音楽表現演習を担当されている非常勤講師の野田煥氏が、このほど日本大学大学院医学研究科より医学博士号を授与されました。音楽家への医学博士号授与は珍しいことであり、野田先生の開発された「音楽運動療法」が医学的にも大変有効であることが認められたこととなります。

公募展

YOUパックアートコンペ2004

郵便局の小包郵便「ゆうパック」に作品を箱詰めして応募する、ユニークな公募展「YOUパックアートコンペ2004」を開催しました。10月13日(水)~20日(水)の応募期間に、240点の多種多様な芸術作品が全国の郵便局を介して届き、その中から、内山武夫京都国立近代美術館館長やアーティストのヤノベケンジ氏ら審査員5名が優秀作品15点を選出しました。

また、2004年11月4日(木)~22日(月)には、附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」において全応募作品を並べた展示会を開催し、多数の方にご高覧いただきました。



グランプリ「空の梱包」長谷川克夫さん



新棟完成記念賞「次元境界上の祭禮」小野寺直彦さん

教育後援会賞	「溢れる思い」 「記憶の変位」	山本可奈さん 井川和樹さん
同窓会賞	「お友達になろうよ」 「package language」	島田雅子さん 今城早依子さん
特別賞 (郵便局賞)	「サムライマー」 「うみやげ詰合せ」 「素敵な物の見方をする男」 「目覚めたとき」 「シルエット」	石橋貴男さん なんじ隆一さん 戸田澄江さん 松栄舞子さん 江口圭彦さん
特別賞 (高校生賞)	「芽のデルとき。」 「あるリズムのための手引き」 「夜と読書」「99」	川村如音さん 北村理枝子さん 高木真希人さん

附属ギャラリー 「アートスペース嵯峨」

日本画3回生作品展

芸術学部造形学科日本画分野の3回生によるグループ展を2004年10月12日(火)から17日(日)に開催しました。

日本画専攻科展

短期大学部専攻科美術専攻で日本画を専攻する学生による作品展を2004年10月19日(火)から24日(日)に開催しました。

「JAGDA新人賞2004」展

社団法人日本グラフィックデザイナー協会 JAGDA 主催、京都嵯峨芸術大学協賛による、JAGDA新人賞受賞者の作品展が10月26日(火)~31日(日)に開催されました。これに伴い、10月30日(土)には、「グラフィックで京の地場産業を売る!」をテーマに学生を交えてONE DAYスクールが開催されました。

伊勢信子退職記念展

2005年3月末に退職される伊勢信子特別任用教授(短期大学部イラストレーション標準コース)の展示会を、2004年11月25日(木)~12月8日(水)に開催し、初期から現在までの平面・立体作品を多数展示しました。

また、会期中の12月5日(日)には200名を超える卒業生が参加して、「伊勢先生を囲む会」が学生食堂で開かれました。

第3回マイカメラ・マイスタイル・マイフォト展

2004年12月10日(金)~22日(水)、本学の教職員による恒例の写真展を開催しました。作者独自の写真や機材との関係がコンセプトとなる本展では、第3回目の今回、「スナップショット」をテーマに教職員14名が参加し、独自の視点とこだわりのカメラで捉えた世界を発表しました。

森原キャンパス「有響館」開設記念事業

連続講座「京の美意識」

四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として長い歴史を刻んできた京都には、独特の知恵や美意識が存在します。

一方、近年の科学技術の発展は、社会に急速な情報化や国際化をもたらし、私たちはその激しい波に巻き込まれています。

そのような現代において、京都に伝わる知恵や美意識をもう一度じっくり鑑賞したり、体験したり、現代との違いを比較・検討することで、私たちの生活を見直すきっかけとしてみませんか。



開講は、毎月1回土曜日14時より、会場は、G401教室(有響館4F)です。
お問合せ、参加申込は企画広報課まで。
TEL075 864 7859 FAX075 882 7770
kikaku@kyoto-saga.ac.jp

[連続講座スケジュール]		2004年12月現在確定分
第3回『京の織』	2005年1月22日(土)	講師/北村武資氏 重要無形文化財保持者
第4回『京の染』	2005年2月26日(土)	講師/森口邦彦氏 京友禅作家
第5回『京の祝事』	2005年3月26日(土)	講師/源田善朗氏 元:源田紙業株式会社社長
第6回『京の着物』	2005年4月23日(土)	講師/羽田登氏 京友禅作家
第7回『京の笑』	2005年5月21日(土)	講師/茂山あきら氏 大蔵流狂言師
第8回『京の舞』	2005年6月25日(土)	講師/藤間勘祐氏 舞踊家
第9回『京の木の仕事』	2005年10月15日(土)	講師/村山明氏 漆芸家
第10回『京の菓子』	2005年11月26日(土)	講師/高家昌昭氏 塩苺軒代表取締役
第11回『未定』	2005年12月10日(土)	講師/未定
第12回『京の生け花』	2006年1月21日(土)	講師/来田仙甫氏 嵯峨御流華道総司所相談役
第13回『京の芸能』	2006年2月25日(土)	講師/金剛永勤氏 金剛流宗家/能楽師
第14回『京の祭り』	2006年3月25日(土)	講師/川塚錦造氏 菊水鉢保存会副理事長

入試関連情報

2005年4月に開設する京都嵯峨芸術大学大学院の一般入試を2005年2月19日(土)に実施します。また、芸術学部一般入試は、前期1月25日(火)、後期2月26日(土)の日程で、短期大学部の一般入試は、前期

1月24日(月)、後期2月27日(日)の日程でそれぞれ実施します。
詳細は入試課までお問合せください。
TEL075 864 7878 FAX075 881 7133
nyush@kyoto-saga.ac.jp

専任教員 展覧会情報

12/18~1/18	第36回日展	京都市美術館	辻信夫 吉水絹代 他 染織
1/20~1/28	第17回京都美術文化賞受賞記念展 オープニング展	中信御池ギャラリー(京都)	加藤明子 造形学科
1/24~1/29	THING MATTER TIME 2005	信濃橋画廊(大阪)	中井浩史 洋画
1/24~2/5	アートがもたらすプラセボ効果	GARELLY H O Ⅲ(大阪)	中井浩史 洋画
1/24~2/5	アートカクテル2005	山脇アートギャラリー(東京)	宇野和幸 油画
1/26~1/30	個展	京都文化博物館5階ギャラリー	北村正己 日本画
2/3~2/13	第17回京都美術文化賞受賞記念展 加藤明子展	中信御池ギャラリー(京都)	加藤明子 造形学科
2/8~2/13	油画研究室展 - 思考する視線 -	同時代ギャラリー(京都)	入佐美南子 宇野和幸 山本直樹 他 油画
3/1~3/6	京都工芸美術作家協会展	京都府立文化芸術会館	吉水絹代 他 染織
3/4~3/12	個展	ギャラリー52(東京)	宇野和幸 油画
3月上旬	ミニアチュール展	ギャラリー三条(京都)	加藤明子 造形学科
3月上旬	茨木美術協会チャリティー小品展	ジャスコ新茨木店(大阪)	瀧澤賢福 混合表現

会期、展覧会名、会場、出品者の順に記載。なお、内容は変更される場合がございますのでご了承ください。 非常勤教職員の情報は大学のWebサイトをご覧ください。

大学行事

卒業・修了式、制作展授賞式

京都嵯峨芸術大学ならびに京都嵯峨芸術大学短期大学部の平成16年度卒業・修了式を下記のとおり執り行います。

また、式典に先立って、制作展受賞者への授賞式を行います。

日時...2005年3月19日(土)
制作展授賞式10:30~
卒業・修了式11:00~
会場...講堂(講堂棟4階)

教育後援会

教育後援会では、2005年2月13日(日)に、第33回制作展の見学会を兼ねて、保護者懇談会を開催します。

また、2005年3月19日(土)には、卒業祝賀パーティーを後援会主催のもとに執り行います。

保護者の皆様には、各行事へのご参加をお待ち申し上げます。

内容等に関するお問合せは総務課まで。
TEL075 864 7858 FAX075 881 7133
soumu@kyoto-saga.ac.jp

アートスペース嵯峨スケジュール

2005年1月18日(火)~22日(土)
観光デザインドロイング展
2005年2月9日(水)~13日(日)
第33回制作展
2005年2月16日(水)~25日(金)
研究生展

京都嵯峨芸術大学広報

第11号

2005年1月17日発行

編集 京都嵯峨芸術大学 企画広報室

発行 学校法人大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学
〒616 8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL075 864 7859

FAX075 882 7770

http://www.kyoto-saga.ac.jp

info@kyoto-saga.ac.jp

印刷 大光印刷株式会社